

# 概要報告

実施期日	8月1日(金)
部会名	中学校 総合的な学習の時間部会

テーマ 『総合的な学習の時間における探求活動とは』

## 提案概要

提案校では「課題解決や探究活動に主体的、協同的に取り組む態度の育成」を柱に、生徒に「生きる力」を育ませることに取り組んでいる。1年生は郷土と福祉、2年生は職業と生き方、3年生は日本の伝統・文化と進路選択についての課題解決や研究を行っている。また、最後に発表活動を行い、振り返りを通して新たな課題を見いだす学習を行っている。

今回の発表では、1年生の2学期に実施している「鎌倉探索」の発表についてポスターセッション形式で行っている事例を通して、具体的に成果と課題を発表し、発展的に学習する探究活動について提案した。

## 質疑概要

- \* 「ポスターセッションによる発表」の円滑な進行について
  - ・ 班の分け方はどのようにしているか?
    - 6クラス×6班 計36班
  - ・ 9つのブースで発表する際の割り振りの仕方はどのようにしているか?
    - プレ発表と本番で計4回発表するので、時間が重なる班の発表も見られるよう組み方を工夫した。
  - ・ 聞く生徒の人数に差が出ないか?
    - 若干の差はあるが、進行役の学級委員が声をかけ調整する。
  - ・ 36班を学年職員がどのような指導しているか。
    - 主に担任が自分のクラスの班を指導し、副担任が適宜サポートする。
- \* 限られた時数の中で、これだけの発表をするための、準備や工夫などは?
  - ポスターセッションによる発表については、1年の国語の授業で行っているため、生徒は形式を理解している。また、学年の職員の協力がある。

## 研究協議概要

- \* 研究協議のテーマ
  - 1 「総合的な学習の時間における探究活動」
    - ・ 各校の探究的な学習の工夫について
    - ・ 学年どうしのつながりや発展的な学習の工夫について
  - 2 「思考力・判断力・表現力の育成を図るための工夫」
    - ・ 発表の方法について
    - ・ よりよい発表のための準備の工夫
- \* 研究協議（ワールドカフェ方式）

5～6人のグループを6つ作り、上記のテーマで各校の取組や工夫をシェアした。1の項目については、15分の意見交流のあと、メンバーを変えてテーブルホストが最初のグループの発表内容を紹介した。その後、再び意見の交流をした。

2の項目については、さらにメンバーを変えて、意見の交流をした。

## まとめ概要

- ・総合的な学習の時間においては、キーワードが2つある。  
　　＜探求的な学習＞＜協同的な取り組み＞を行っていくことが重要である。
- ・探求的な学習では〔課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現〕の学習課程が繰り返され、スパイラルに高まっていくことが重要になる。学校全体で3年間を見通した教育課程を編成する必要がある。  
　　また、課題の設定について、適切な指導が望まれる。
- ・学びの発展、連続性が大切である。そして自分の課題が次の学習や生き方につながるきっかけとなるよう指導したい。
  
- ・総合的な学習の時間の中で学びや体験が生かされないまま、発表を行ってしまう場合がある。
- ・『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開』に具体例が示されている。参考にしてほしい。
- ・系統的に実践していくのが教員の力量である。総合的な学習の時間では、地域、学年職員、他学年等と力を合わせてやっていくことが重要になってくる。難しいことだが、大切なことである。意識して取り組んでいきたい。